

ベネッセ総合学力テスト(進研模試)に向けて

中間考査も終わり一息ついている後期生もいるかとは思いますが、7月2日にはベネッセ総合学力テスト(6年生は進研模試)が迫っています。4年生にとっては初めての全国模試です。そこで今回は模擬試験とはどういうものかについてお話しします。もう何度も模擬試験を受けている5年生、6年生も「模試とは何か」を再度確認しておきましょう。

もし、見知らぬ町に一人、道に迷ったとしたら、君たちはどうしますか。地図も、標識も、目印となる建物もなければきっと何をしたいかわからないと思います。でも幸い、君たちにはスマホなどのツールがありますね。

たぶん、スマホを取り出して、Google マップなどの地図で「自分の現在地」「自分の目的地」「目的地までの交通手段」「目的地までのルート」などを調べるでしょう。模擬試験も地図のようなものです。模擬試験を受けることで、「自分が全国の高校生の中でどのあたりの成績なのか(現在地)」「自分の目指す進路がどれだけの成績を必要としているのか(目的地)」などを知ることができるのです。模擬試験なしで受験するのは地図なしで旅をするようなものです。

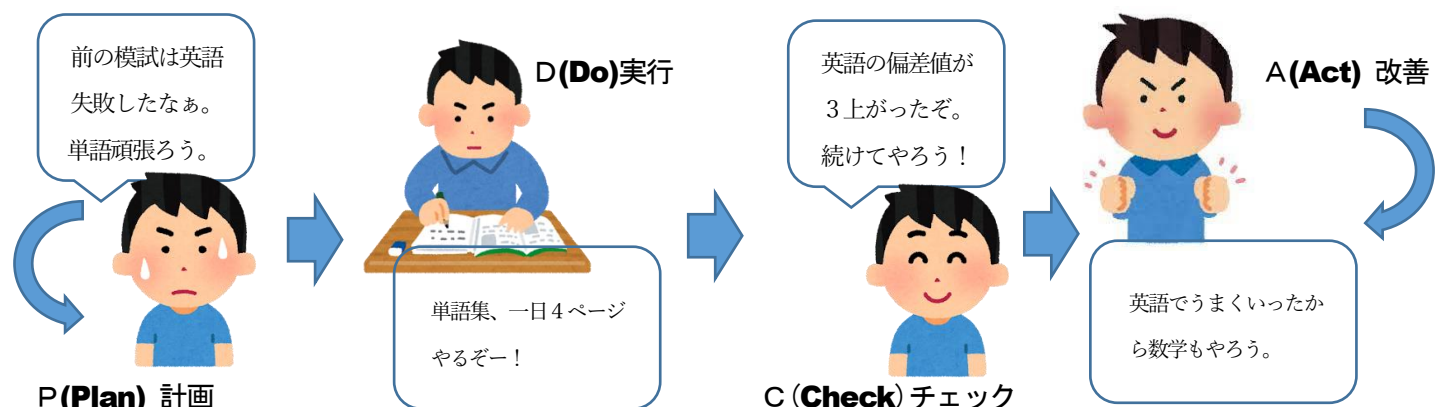
模擬試験は「点数がよかった・悪かった」を見るのが第一の目的ではありません。5、6年生だと志望大学の「合格可能性判定」を出してもらえますが、これも第一の目的ではありません。そもそも、模擬試験は占いではありません。判定だけ見て一喜一憂しても何も始まりませんよ。

4、5年生には青い表紙の「合格ライン」という冊子が配付されたと思います(6年生は受験生用の「合格ライン」が配布されています)。この冊子には各大学の合格者がベネッセの模試で平均どのくらいの成績だったかがまとめてあります。この成績が当面の目標となることでしょう。もちろん、「平均」なので、今、その成績に達していなくても合格の可能性はあります。大事なことは自分の成績をその数値を目標にして上げていくことです。そのために「何を、どのくらいしたらいいか(目的地までのルート・交通手段)」を自分で考えることが大事です。模擬試験は受けたらそれで終わりではありません。受けた後解き直しをしたり、振り返りをしてすることで目的地までの距離を詰めていく作業の方がむしろ大事なのです。

ベネッセの模擬試験の場合、ベネッセの開設しているウェブサイト「マナビジョン」<https://manabi.benesse.ne.jp/>の「ポートフォリオ」を利用することで振り返りの記録を残すことができます(詳しくは学年の先生に確認してください)。地図も目印もなく、進路の見知らぬ町で道に迷わないように、「模試とはなにか」ということをしっかりと肝に銘じておいてください。受けるだけが模試ではなく、受ける前、受けた後にこそ模試の本当の意味があります。

4年生は6月25日(土)に昨年のベネッセ総合学力テストと同じ問題を使った「プレ模試」にチャレンジします。初めての模試に向けて、時間配分や、高校生の試験の手応えなどを実感して、万全の備えで本番を迎えるようにしましょう。あらかじめ、合格ラインで気になる大学の「昨年の受験生の平均」を調べて、それを意識してチャレンジしてください。最初から届いている必要はありません。大事なのは自分と目標の距離を知ることと、目標までのたどり着き方を意識することです。

模擬試験を使った学習のPDCAサイクル(例)



模試用語の基礎知識

・ 偏差値

平均点が50点のテストで60点とったときと、平均点が70点のテストで60点とったときとでは、同じ60点でも意味が違いますよね。また、平均点が同じ50点のテストでも、最高点が60点のテストで60点とったときと、60点以上もたくさんいるテストで60点とったときとではやはり意味が違います。

偏差値は「平均点」と受験者の得点の「散らばりぐあい」の二つの点から得点を調整した数値です（詳しくは数学の先生に聞いてみましょう）。「平均点」だけでなく、「散らばりぐあい」も考慮されているので、同じような条件で行った別の模試の結果とも結果を比較することができます。たとえば自分が今回受ける模試の結果は、先輩達の受けた模試の結果や、自分が過去に受けた模試の結果と比較できるようになるわけです。このことで自分の成長が客観的にわかるようになります。

模試で使う偏差値では平均点が偏差値50になります。ですから50を切る場合は全国平均を下回っていることになります。ちなみに4年生がチャレンジするプレテストでは去年、このような結果でした。参考にしてみてください。

令和3年度高校1年生7月ベネッセ総合学カテスト 得点と偏差値

偏差値	国語	数学	英語	
80	86.4	91.3	85.6	東京大学目標値
70	71.0	72.7	70.0	東北大学目標値
60	55.6	54.1	54.4	新潟大学目標値
50	40.2	35.5	38.8	全国平均点

（目標値はあくまで大まかな目標値です。実際は「合格ライン」で確認しましょう）

・ G T Z （学力到達ゾーン）

ベネッセの模試で使われる用語です。前述の偏差値を元にS1～D3まで15段階で表されます。詳しくは模試で配られる資料を見てください。数字で偏差値を見るより、なにか実感がわくかもしれませんね。

・ 全統模試

河合塾が実施する模擬試験です。ベネッセの模擬試験が多くの学校で採用されているのに対し、全統模試は進学校を中心に実施されているので、受験者のレベルが高くなっています。そのため偏差値はベネッセの模試より低く出ます（つまり、ベネッセの偏差値とは単純に比較はできません）。特に国公立大学や難関私立大学を目指す人には大事なデータとなる模試です。河合塾でもベネッセの「合格ライン」に相当する冊子を作っているため、全統模試実施の際に配付します。それを基に目標を設定してください。

・ 駿台模試

駿台予備校が実施する模擬試験です。河合塾よりさらに受験者のレベルが高いので、特に難関大学を受験する人には重要な模擬試験です。6年生ではベネッセと駿台が合同でベネッセ駿台模試を実施します。受験者数が多いベネッセに難関校のデータに強い駿台予備校が加わることで最終的な受験校決定の際に大いに役立つデータとなります。

・ G T E C

ベネッセが実施する4技能型の英語の試験です。英語の4技能の実力を判定するアセスメント版と公式なスコアとして使える検定版があります。検定版のスコアは大学入試の際に正式な資格として使えるものです。本校では6年生がこの検定版を受験します。

（文責 進路指導部長 星野 真博）